

# 本番さながらの防災訓練

## えっ!? 山陽町で台風と大地震が!?

「大型で非常に強い台風が毎時三〇キロメートルの速さで山口県に向かってきている。なおかつ台風上陸時には大潮の満潮時と重なる。

さらに、この時マグニチュード七・二の地震も発生する!」という最大最悪の災害が起こった!と言ってもこれはあくまでも「平成十二年度・山口県総合防災訓練」のために想定された状況です。

平成十二年九月一日、午前五時。山口県全域に大雨、洪水、暴風警報、高潮、波浪警報が発令!山陽町、山陽オートレース場の大駐車場は大災害の現場となつてしま

バックホーを使った訓練



ました。参加機関五五・約八〇〇人の人々による防災訓練が始まりました。

下関気象台から台風情報が寄せられ、被害状況が報告されると、県警は災害警備本部、県と山陽町は災害対策本部を設置します。そして、警察、消防団体、自衛隊などのさまざまな機関が日頃の訓練の成果を披露してく

れました。地元婦人会のバケツリレー、消防団の土のう積み、各消防署の倒壊ビルや車からの被害者搬送。ボランティアの救援物資輸送。自衛隊による上空偵察、孤立者救助、救出などが手早く確実に行われていきます。

我が山口県建設業協会は宇部支部が参加しました。倒壊家屋により通行不能となった道路の啓開作業を行いました。バックホーを運転し、作業したのは宇部支部、竜三建設株式会社・平沼博司さん。これも、速やかな作業で無事に訓練を終わらせ

高所に取り残された人の救助訓練



自衛隊による救助訓練



をすべて出して、防災、復旧に努めます。すべての災害で、今日のように各機関が即座に対応できれば、災害もかなり防げると思います。しかし、いつでもこのように

ました。県と協会は「大規模災害応急対策業務に関する協定」を結んでいます。当然、災害の時には各支部の協会員は、その持てる力

はいかない。そんな時には、やはり地域に根ざしている我々の力が重大になるでしょう。そのためにも、今日のような訓練は「どうしたらいいか?」を経験で知るために、よいチャンスであったと思います。二井知事の「地域防災を常日頃から心がけて欲しい」という閉会の言葉で大規模防災訓練は無事終了しました。

閉会式

